

## 令和3年度の二酸化炭素排出量の公表資料について

令和3年度の温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>)を次のとおり公表します。

本計画は令和12年度までに基準年度比で15%の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)削減を目標としており、基準年度排出量(970.7t CO<sub>2</sub>)に対して目標排出量は(825.1t CO<sub>2</sub>)です。

令和3年度の神崎町役場全体の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量は、973.9t CO<sub>2</sub>でした。基準年度に比べて3.2t CO<sub>2</sub>増加しました。

増加の要因は、「電気の使用」、「燃料の燃焼」の増加によるものです。電気の使用量の増加は、新型コロナウイルス感染症対策とした行動制限が令和元年度に比べ令和3年度中は緩和されたことにより、施設利用が増加したことと、施設利用時における空調等の使用と換気の実施によることが増加の要因と考えられます。

また、燃料の燃焼使用量については、電力の使用量と同様に施設の空調に使用する灯油の量が増加したことから、施設内の換気の実施によることが増加の要因と考えられます。

### 電気の使用

年度	電気の使用量 (kWh)	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(t)
令和3年度	1,557,206	711.643142
令和元年度	1,508,211	705.842748
差	48,995	5.800394

### 燃料の燃焼

年度	燃料の燃焼量 (L)	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(t)
令和3年度	89,011.6	223.50872
令和元年度	87,147.3	218.88555
差	1,864.3	4.62317

一方、「公用車の使用による燃料の燃焼」については、軽油とガソリンの使用量が減少されたことにより二酸化炭素排出量が約7.2t減少されました。減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により、各種団体の研修などの減少や、職員の参加する会議がWebによる開催方法へと変化され公用車の使用頻度が減少したことによるものと考えられます。

### 公用車の使用による燃料の燃焼

年度	燃料の燃焼量 (L)	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(t)
令和3年度	15,623	38.73278
令和元年度	18,530	45.96192
差	-2,907	-7.22914

しかしながら、令和 3 年度の二酸化炭素排出量は基準年度よりも増加してしまったことから、計画に則した取組を更に定着し行動できるよう推進し、目標排出量 (825.1 t CO<sub>2</sub>) に向けて二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。